

(別紙5)

整理番号 2021P-790

補助事業名 2021年度 緊急的な対応を必要とする事業

(新型コロナウイルス感染症の拡大防止策)補助事業

補助事業者名 (N)ちば地域生活支援舎

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

地域で新型コロナウイルス感染症が拡大している中、当法人が運営する事業所での感染予防や拡大防止に努める。

(2) 実施内容

特定非営利活動法人 ちば地域生活支援舎 (chibasha.com)

①サーキュレーター

・日中の2時間ごとの換気時やオゾン空気清浄機の循環時に使用し、効率的な換気を行っている。新型コロナウイルス対策に換気は有効だが、窓を開けるだけでの換気では滞ってしまう場所でも、サーキュレーターを使用して部屋全体の空気を循環することで効率の良い換気ができ、感染予防が期待できる。



②オゾンスプラッシュ

・人体への影響がなくウイルスを除菌してくれるオゾン水の為、おもちゃや布団、ぬいぐるみ等、子どもたちが触れるものにも安心して使うことができる。拭き取りなどする必要もない為、小まめに消毒ができ、感染予防が図れている。



(別紙5)

③パルスオキシメーター

- ・利用者の体調変化に気づき対応することができる。又、早期に対応することで感染拡大・重症化を防ぐことができる。利用者宅への訪問時や通所の来所時に測定を行っている。



④PCR検査キット

- ・検査の目的：コロナ感染の有無発見の為、使用日：3/7、3/9、3/10、3/30、3/31、4/4
内容：月に一回程度、職員がPCR検査を行うことで、陽性の有無を発見し感染拡大防止を図ることができた。



⑤ポータブル電源

- ・災害が発生し、停電が起きた場合でも、ポータブル電源を使用することで屋外でも活動ができ、三蜜を回避することができる。



(別紙5)

⑥パーテーション

マスクを外す食事の場面で使用することで飛沫による感染防止を行っている。



⑦サーモカメラ

利用者の来所時に体温を測定し、事前に危険を察知することで感染者との接触を防ぎ感染防止を図っている。



2 予想される事業実施効果

サーモカメラ等の導入やパーテーションを利用して感染予防をしっかりとしていることを法人内外に周知することで、安心して利用して頂ける。又、コロナ感染の予防のために利用を控えている方へも周知し、感染に対する不安がない状況で利用していただけると期待できる。

(別紙5)

3 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 特定非営利活動法人ちば地域生活支援舎
(トクテイヒエイリカツドウホウジンチバチイキセイカツシエンシャ)

住 所： 〒283-0802
千葉県東金市東金421番地

代 表 者： 代表理事 宮下 裕一

担 当 部 署： 総務・企画課

担 当 者 名： 小田島 (オダジマ)

電 話 番 号： 0475-53-3630

F A X： 0475-53-3631

E - m a i l： chibasha043@aroma.ocn.ne.jp

U R L： <http://www.chibasha.com/>